

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L 宮島、旅田

2. 山城/ルート

八ヶ岳・阿弥陀南稜

3. 交通手段

車

4. 行動記録

<入山日 2015 年 1 月 10 日 下山日 2015 年 1 月 12 日>

1/9(金) 20:40 尼崎-21:20 新大阪-3:00 原 PA 着(仮眠)

1/10(土) 7:30 原 PA 発-10:00 舟山十字路-11:00 旭小屋-14:00 立場山-14:55 無名峰手前(2370m 付近)テント泊

1/11(日) 4:17 起床-6:37 発-8:40~9:40 P3 入口(1 時間順番待ち)-12:20 阿弥陀岳山頂-中岳のコル-中岳沢-14:46 行者小屋(テント泊)

1/12(月) 3:00 起床-5:40 発-6:10 行者小屋着-(大同心ルンゼ、裏同心ルンゼに迷いこむ)-8:50 ジョウゴ沢 F1 9:40-10:20 赤岳鉱泉-11:55 美濃戸山荘-13:00 美濃戸ロ-タクシー-15:00 もみの湯-21:30 新大阪-22:30 尼崎着

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか?

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

・ スタート時間遅れ、行動の遅れ。テント泊地を、一日目は予定地よりも下に、二日目は赤岳鉱泉予定を行者小屋にした。

・ P3 でスムーズにできずかなり時間を食ってしまった。

・ 計画では下山に文三郎尾根を使う予定であったが、ホワイトアウトしており変更。中岳沢のやや左の尾根を下るが、雪が深くてなかなか進まず。途中で後続が中岳沢をまっすぐ降りていったことから、雪崩に注意しながらトレースをたどって降りる。

b) 事故に繋がりそうな要因 (ヒヤリハット) が発生したか?

発生した場合、具体的に記す

・ なし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか?

帰宅の車中内で阿弥陀南稜 P3 での行動、および全体の行動に関して振り返り。

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

(ルート情報)

・ 朝早めに出発するも、前日に無名峰下までしか行けなかったため、先行に 2party (3 人、4 人) おり、P3 で一時間の順番待ち。天候が悪かったこともあり寒かった。

・ P3 でもたついて、3 ピッチに切ることになる(通常 2 ピッチ)。後続に抜かしてもらった。

・ 自分ら含めて 6party を確認。1party はノーザイル。

・ 雪が多いので P4 は無問題。P5 は他パーティーは左から行っていたようだが、よく分からず、L が 3 年前に経験のある右かわ回り込んで登った。

・阿弥陀山頂から中岳方面への下降では吹雪でトレースがなくなっており、バックステップでステップを切りながら降りたので時間がかかった。

(良かった点)

- ・悪天の中でも登攀でき、自信になった。
- ・やや欲張った計画だったが達成できた。F1だけでもジョウゴ沢で遊ぶことができて良かった。

(反省点)

- ・初日のスタート時間から予定が少しずつ遅れ、その後も寝坊、行動遅延、P3でのもたつきにより取り返せず、予定よりも時間かなり時間がかかってしまった。
- ・初級といえどもアルパインルートであるため、歩荷力は必要であり、システムを事前にしっかりと確認しておくべきだった。お互いの実力も事前に合同トレできっちり把握しておくべきだった。
- ・ルートについては、お互いが確実に事前に把握しておくべきと感じた。3日目のジョウゴ沢の場所迷いもお粗末だった。結果的には大同心のアプローチを確認できて良かったが。

報告者氏名 宮島 2015年1月25日